

訓讀 儀式 踐祚大嘗祭儀

せん そ だい じよう さい ぎ

組見本

◎天皇一代一度の国家祭祀・大嘗祭の祭祀・儀式の全貌を示す、最も古い確かな文献である『儀式』(貞観儀式)。本書は、『儀式』巻二・三・四「踐祚大嘗祭儀 上・中・下」の訓読・注釈研究の成果。

◎訓読文を原則十行で右頁に掲げ、これに対応する底本原本を左頁に記した。また、校異・小見出しを上段、注釈を下段として見開き頁内に収めた。

◎本篇の理解に資するために参考図を、注の検索のために注釈索引を本書末に配した。

◎底本には、穏やかな本文で、大きな過誤がないと考えられる天保五年の版本を用い、その他の写本・活字本と対校した。

◎訓読文は、儀式が撰上された当時の読み方をできる限り再現するように努め、注釈には訓の根拠を示した。

目次

刊行の辞 (皇學館大学学長 清水潔)

凡例

訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀

儀式 踐祚大嘗祭儀 上(巻第二)

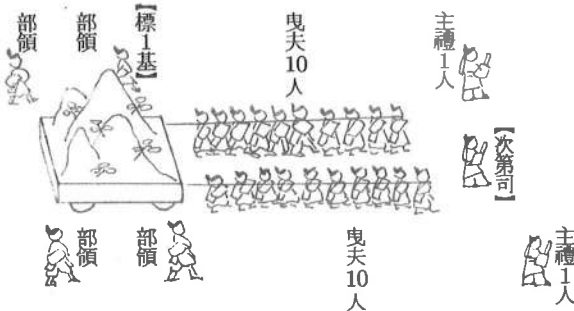
儀式 踐祚大嘗祭儀 中(巻第三)

儀式 踐祚大嘗祭儀 下(巻第四)

「儀式 踐祚大嘗祭儀」考 (加茂正典)

参考図

注釈索引



参考図「悠紀主基両国 供神物行列図」(部分) 作図：石野浩司

組見本 (Group Photo) section containing detailed descriptions of participants and their positions in the ritual, including names like 御田六段 and 御田四角.

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	訓讀註釋 儀式 踐祚大嘗祭儀		本体15,000円(税別) ISBN978-4-7842-1619-2	
お名前	〒		tel		
			e-mail		
ご住所					
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

書店番線印

東京国立博物館古典籍叢刊 九条家本 延喜式 (既刊2冊)

東京国立博物館所蔵の国宝「九条家本延喜式」を、紙背文書も含めて写真版で影印出版。FMスクリーンによる高精細印刷で、朱書きがある箇所は二色刷にし、第五巻には九条家本延喜式の解説と紙背文書全文の翻刻を付す。紙背は横長で掲載。

▶第一巻 A5判・450頁/定価15,750円 ISBN978-4-7842-1535-5
▶第二巻 A5判・450頁/定価15,750円 ISBN978-4-7842-1594-2

平安貴族社会の秩序と昇進

佐古愛己著

律令国家体制が維持されていた平安初期から、平安末・鎌倉初期までを射程として、貴族社会の構成と編成原理を解明する大著。平安から鎌倉初期にかけての各制度の総合的な把握を試みることに、律令官人制から平安貴族社会、中世公家社会の成立過程を明らかにし、日本の古代から中世への移行の特質を探る。

▶A5判・572頁/定価8,190円 ISBN978-4-7842-1602-4

日本古代即位儀礼史の研究

加茂正典著

思文閣史学叢書

本書は大嘗祭はもちろん、剣璽渡御儀礼・即位式といった広義の即位儀礼をとりあげることにより、桓武・平城朝における即位儀礼の儀式的意味と歴史的意義を明らかにする。さらに資料篇として古代即位儀礼史料年表、新嘗祭・大嘗祭関係文献目録(昭和20年～平成10年)を収載し、巻末には索引を付す。

▶A5判・480頁/定価9,030円 ISBN4-7842-0995-6

仁明朝史の研究 承和転換期とその周辺

角田文衛監修/ (財)古代学協会編

(財)古代学協会にて行われた平安時代をテーマとした共同研究の最新成果。王朝文化の先駆けを成す重要な転換期である仁明天皇(在位833～858年)の時代の歴史的意義を、文献史学・考古学・美術史などから多角的に解き明かし、日本国内のみならず東アジア世界の動向とも関連づける。

▶A5判・356頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1547-8

安祥寺資財帳

京都大学史料叢書①

京都大学文学部日本史研究室編/中町美香子・鎌田元一編集・解説
安祥寺は平安時代に入唐僧・恵運が開山した真言系の密教寺院。本資財帳は、恵運が貞観9年(867)に自ら勘録したもので、建立の経緯、貞観9年段階での規模、資財などが記されており、巻首から巻尾まで備わった貴重な9世紀の資財帳史料の一つ。現存の諸本の祖にあたる京都大学蔵本(旧観智院蔵本)を影印で収録。釈文と解説を付す。

▶A5判・176頁/定価5,775円 ISBN978-4-7842-1516-4

日中親族構造の比較研究

官文娜著

思文閣史学叢書

日中親族集団の構造を手がかりとして、日本が中国の親族文化、特に宗族制度を受容しなかった理由、またともに「アジア文化圏」に属する両国の、近代以降における西洋異文化との衝突の原因と融合の条件を探る。

▶A5判・430頁/定価7,560円 ISBN4-7842-1241-8

禁裏本歌書の蔵書史的研究

酒井茂幸著

従来の和歌文学の書誌学的研究が個別の資料に基づき行われてきたのに対し、禁裏本の総体を蔵書群として捉え、同時代の公家日記や古歌書目録類を援用しつつ、その伝来の歴史を跡付ける。中世後期以降、歴代天皇がどのような歌書を求め、書写し、収蔵していったかを明かす。

▶A5判・344頁/定価5,880円 ISBN978-4-7842-1483-9

中世前期女性院宮の研究

山田彩起子著

院政・鎌倉期における女性院宮(女院・后)の多様な存在形態を様々な視点から分析。第一部では、国母の存在形態の多様性と王家における役割・位置付けを検証し、第二部では、撰関家出身の女性院宮の撰関家における独自の役割の大きさを論証する。中世前期の女性院宮研究のみならず、中世の公家社会研究に寄与する一書。

▶A5判・310頁/定価5,880円 ISBN978-4-7842-1496-9

*日本古代典籍史料の研究

鹿内浩胤著

史書・法制史料・儀式書・部類記など歴史学の土台をなす日本古代史の基本史料を対象に、原撰本へ如何にして接近するか、伝来論的アプローチを中心に「文献学的研究」と「書誌学的研究」の二部構成で研究の方法論を提示する。著者が発見した新史料『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)全丁の影印・翻刻も収録。

▶A5判・376頁/定価7,035円 ISBN978-4-7842-1552-2

*王権と神祇

今谷明編

実証的研究の蓄積が少ない天皇制や大嘗祭、また権門体制論・顕密体制論によって規制されがちな中世神祇史について、実態面の研究を積み重ね、さらに中世日本紀や神道書の考証も重ね合わせることに、王権と宗教に関する新たな見取り図を描き出すことを目指した意欲的な論集。国際日本文化研究センターにおいて行われた共同研究の成果。

▶A5判・348頁/定価6,825円 ISBN4-7842-1110-1

後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

本書は、後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応=政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁/定価6,300円 ISBN978-4-7842-1536-2

奈良朝人物列伝 『続日本紀』薨卒伝の検討

林陸朗著

『続日本紀』収録の全54名の薨卒伝(王臣・僧侶等の死没後に出る略伝的な記事)をとりあげ、現代語訳・訓読・原文・語句解説・考察で構成。特色ある54名の生き様から、権謀渦巻く奈良朝政治の裏側を見る。【掲載人物】道昭和尚/行基和尚/光明皇后/藤原仲麻呂/坂上犬養/吉備真備/藤原百川/石上宅嗣/大伴家持/藤原乙牟漏 他

▶A5判・468頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1517-1

*日本古代宮廷社会の研究

瀧浪貞子著

思文閣史学叢書

先入観を極力排し、奈良・平安時代を連続して考察することにより、光明子立后論の盲点を衝き、学問的に忌避されがちな孝謙女帝の復権を果すなど創見に富む著者初の論文集。

【内容】I 皇位と皇統/II 場の政治学/III 宮都の構造/IV 律令課役論断章

▶A5判・640頁/定価12,390円 ISBN4-7842-0677-9

平安時代貿易管理制度史の研究

渡邊誠著

9世紀以降、日本の対外交易は朝鮮半島・中国大陸から来航する海外の商人(海商)によって担われてきた。従来、平安時代の貿易に対する国家の関与は、内外の交易者と対立的に捉えられることが多かった。海商の貿易活動を国家が管理する「制度」を中心にすえて、その消長を明らかにすることで、新たな貿易史像を呈示する。

▶A5判・396頁/定価7,350円 ISBN978-4-7842-1612-3

兵範記人名索引

兵範記輪読会編(代表 杉橋隆夫)

1980(昭和55)年の輪読会発足より蓄積された研究成果を人名索引として集成。(増補)史料大成本を底本とし、男子の部と女子の部の2部構成よりなり、人名項目のもとに掲出年月日と原文表記を掲げ、原本の情報を盛り込んだ、古代・中世史研究者必携の一書。

【内容】男子部/女子部/あとがき
▶A5判・484頁/定価9,450円 ISBN978-4-7842-1358-0

中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は? 参内するときはどこで牛車を降りればよいのか?

中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。

▶A5判・584頁/定価7,560円 ISBN978-4-7842-1502-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。